



「ふくしま創生総合戦略」(令和2～6年度、令和4年3月改訂【概要】)

参考資料1

【改訂のポイント】

新しい総合計画等が策定されたことを踏まえ、ふくしま創生総合戦略についても、総合計画のアクションプランとして一体的に推進するため、必要な改訂を行う。

① 本戦略が策定された後の変化として総合計画に反映させた、「頻発化・激甚化する自然災害への対応」「新型コロナウイルス感染症への対応」「地球温暖化対策」「デジタル変革（DX）の推進」を追記。

② 成果目標・KPIについて、総合計画等に掲げる指標を反映。

※基本理念や基本的な視点、人口目標は変更しない

基本理念

「福島ならではの」地方創生の推進＝『復興・再生』と『地方創生』を両輪で推進
「震災・原発事故からの復興」と「急激な人口減少の克服」という課題を先取りした本県として、真摯に課題解決を進めることで、国内外の社会的発展にも貢献

【基本的な視点】

- ① 「ふくしまプライド。」を追求するための、県民一人ひとりの想いを大切に、挑戦を支える社会の実現
- ② それぞれの強みを発揮し、相互に連携・共創する社会の実現
- ③ 「ふくしまの地」で挑戦する姿を見て、自分も挑戦したくなる、人が人を呼び込む“あこがれの連鎖”を生む社会の実現

福島県の将来人口推計と人口目標

令和22年に県総人口“150万人程度の維持”
⇒5年後の令和6年に174万人を目指す！
(次期戦略の共通目標)

【前提条件】

出生率 令和22年に福島県民の希望出生率 2.11人を実現
 移動率 令和12年に社会動向±ゼロを実現

【特徴】

1. 中長期目標に加え、5年後（令和6年度末）の人口目標を設定
2. 施策が、人口減少抑制要因（①出生増、②死亡減、③転入増、④転出減）のどれに効果があるかを整理
3. 県民の認識（満足度）を図る県民参考指標を設定（県民意識調査結果の活用）
4. SDGs（持続可能な開発目標）の理念・目標を意識しながら取組を推進

復興・再生



・生徒と自治体や企業との接点の増加

・本県の将来を担う高校生の学力向上



・イバ構想を基軸とした先端産業の集積

・企業の立地促進、ビジネス創出支援

・スマート農林水産業の推進（ICT、ロボット技術の開発・実証）



・生活交通の支援、医療提供体制の再構築

・再生可能エネルギーの普及拡大

・東日本大震災の教訓の継承、県民の防災意識の高揚



・Jヴィレッジの利活用

・震災以降ご縁ができた団体との連携・共働

・避難解除地域等への新たな人の呼び込み（ホープツーリズムの推進）

※復興・再生の取組は復興財源等を活用して推進

地方創生（地域活性化+人口減少・少子高齢化対策）

基本目標1

一人ひとりが輝く社会をつくる（ひと）

【成果目標】

- 合計特殊出生率
- 健康寿命
(県民参考指標)
「県内で子育てしたい」と思っている人の割合

【基本的な考え方 ①、②】

出生 ↑ 死亡 ↓ 転入 ↑ 転出 ↓

- 1 一人ひとりの希望をかなえる
- 2 健やかな暮らしを支える
- 3 地域を担う創造性豊かな人を育てる

・がん患者の支援など治療と仕事の両立

・助産師養成への支援

・ふくしま結婚・子育て応援センターの運営、ネットワークの構築

・保育の質の向上

・障がい者の社会参加の促進

・健康データの見える化等による健康づくり



子育て支援の充実

・子どもの郷土への理解促進

基本目標2

魅力的で安定した仕事をつくる（しごと）

【主な成果目標】

- 安定的な雇用者数
- 製造品出荷額等 など
(県民参考指標)
「県内に魅力ある企業がある」と思っている人の割合 など

【基本的な考え方 ①、②】

転入 ↑ 転出 ↓

- 1 活力ある地域産業を支え、育てる
- 2 魅力ある農林水産業を展開する
- 3 若者の定着・還流につなげる

・経営力強化への支援

・ICT技術の活用による生産性向上（介護現場等）

・オリパラを契機とした県産品の魅力の発信

・起業・創業への伴走支援

・女性・高齢者等農林水産業の担い手確保

・鳥獣被害対策の強化

・インターンシップの拡充

・県内外の大学生に継続的に本県の企業情報を発信

農産物の高品質化



事業承継の支援

基本目標3

暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる（暮らし）

【成果目標】

- 「住んでいる地域が住みやすい」と思っている人の割合
(県民参考指標)
「人と人との支え合いや絆を実感している人」の割合 など

【基本的な考え方 ①、②、③】

死亡 ↓ 転入 ↑ 転出 ↓

- 1 安全で安心な暮らしをつくる
- 2 ゆとりと潤いのある暮らしをつくる
- 3 環境に優しい暮らしをつくる

・過疎・中山間地域の地域公共交通の維持

・グリーン復興構想による自然公園の保全と利活用

・企業や団体と連携した子どもや高齢者の安全対策の強化

・まちなかの賑わいの創出

・ふくしまの地域密着型プロスポーツとの連携による活性化

・環境にやさしい生活のための携帯アプリの開発

豊かな自然の継承



バス路線の維持

基本目標4

新たな人の流れをつくる（人の流れ）

【成果目標】

- 人口の社会増減
- 本県への移住世帯数
(県民参考指標)
「国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のものがある」と思っている人の割合

【基本的な考え方 ②、③】

転入 ↑ 転出 ↓

- 1 地域の多様な魅力を発信する
- 2 ふくしまへ新しい人の流れをつくる

・温泉・食など地域資源をいかした周遊につながる観光誘客の促進

・副業・兼業による地域で暮らすモデルの提示

・福島体験のため滞在住宅としての県営住宅の貸出し

・福島ならではの地域資源をいかした働き方・暮らし方の体験（チャレンジライフ）

・ふくしまで輝いている人にスポットを当てた情報発信



テレワークの促進



「ふくしま創生総合戦略」(令和2~6年度)【令和4年度改訂・構成】

「福島ならではの」=『復興・再生』と『地方創生』を両輪で推進

「震災・原発事故からの復興」と「急激な人口減少の克服」という課題を先取りした本県として、真摯に課題解決を進めることで、国内外の社会的発展にも貢献

基本目標 1 (ひと)

一人ひとりが輝く社会をつくる

出生 ↗ 死亡 ↘ 転入 ↗ 転出 ↘

1.一人ひとりの希望をかなえる

- (1)結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ① 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援
- (2)仕事と生活の両立の希望をかなえる
 - ① 男女がともに仕事と家庭を両立できる環境づくりの推進
 - ② 男性の育児等の参加促進
 - ③ 多様で柔軟な働き方の普及促進
 - ④ 治療と仕事の両立支援
- (3)次代を担う子ども・若者の希望をかなえる
 - ① 子どもの権利が尊重される社会の形成
 - ② 子どもたちの多様な学びの場の確保
 - ③ 魅力的な教育環境の整備
- (4)誰もがいきいきと活躍できる社会環境をつくる
 - ① 年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず誰もが活躍できる社会の形成

2.健やかな暮らしを支える

- (1)心身ともに健やかな暮らしを支える
 - ① 健康づくりの推進
 - ② 保健・医療・福祉の連携促進

3.地域を担う創造性豊かな人を育てる

- (1)ふるさとへの理解・誇りを育む
 - ① 子どもの頃から地域の魅力に触れあう機会の提供
- (2)心豊かでたくましい人を地域全体で育てる
 - ① 担い手・人材の育成

基本目標 2 (しごと)

魅力的で安定した仕事をつくる

転入 ↗ 転出 ↘

1.活力ある地域産業を支え、育てる

- (1)未来を拓き、復興をけん引する新たな産業を育てる
 - ① 福島イノベーション・コースト構想の推進及び成長が期待される産業の育成・集積
 - ② 企業誘致(本社機能、開発・研究拠点等)による雇用の創出
- (2)しなやかで力強い地域産業を育てる
 - ① しなやかで力強い地域産業を育てる
- (3)地域資源をいかした産業を振興する
 - ① 起業家の創出 ② 観光産業の振興
 - ③ デザイン力の強化等による付加価値の向上
- (4)国内外への販路を開拓する
 - ① 国内外への正確な情報発信
 - ② 国内外への販路拡大
 - ③ 連携協定等を活用した販路拡大

2.魅力ある農林水産業を展開する

- (1)多様な担い手を育成する
 - ① 法人・企業による安定雇用の創出
 - ② 経営安定に向けた支援 ③ 新たな担い手の確保
- (2)魅力と満足度の高い農林水産物を提供する
 - ① 品質の高い産品の生産支援
 - ② 第三者認証GAPなどの取得推進
 - ③ 消費者の志向を踏まえた産地づくりの推進
 - ④ 地域産業6次化の推進
- (3)新たな技術を活用する
 - ① AI・IoT、ロボット等を活用したスマート農林水産業の推進
- (4)過疎・中山間地域における農林水産業を維持する
 - ① 鳥獣被害の防止
 - ② 農業・農村の多面的機能の維持・発揮
 - ③ 過疎・中山間地域における担い手の育成・確保

3.若者の定着・還流につなげる

- (1)地域産業への理解を深める
 - ① 子どもの頃から地域のしごとや産業に触れる機会の創出
- (2)若い世代の県内への就業を促進する
 - ① 若者等の県内定着の促進
 - ② 県外から県内への還流促進

基本目標 3 (暮らし)

暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる

死亡 ↘ 転入 ↗ 転出 ↘

1.安全で安心な暮らしをつくる

- (1)多様な人が参加・連携する地域づくりを進める
 - ① 地域に住む人それぞれが役割を持ち、いきいきと暮らすための取組の推進
- (2)過疎・中山間地域の生活基盤を維持・確保する
 - ① 日々の暮らしに必要な生活基盤(買い物環境、地域医療、教育、交通等)の維持・確保
- (3)避難解除地域等の生活基盤を確保する
 - ① 避難解除地域等における生活環境の整備
- (4)災害に強いまちづくりを進める
 - ① 震災の教訓の継承と防災力の向上
 - ② 地域防災力の向上

2.ゆとりと潤いのある暮らしをつくる

- (1)地域の特性をいかしたゆとりある生活空間を守り、引き継ぐ
 - ① 豊かな自然、美しい景観、地域固有の歴史、伝統文化の継承
- (2)持続可能な歩いて暮らせるまちづくりを進める
 - ① 生活に必要な機能がコンパクトに集積し、アクセスしやすいまちづくりの推進
- (3)賑わいのある生活空間をつくる
 - ① まちなかの活性化
 - ② 交流拠点の整備
- (4)文化とスポーツの振興による地域づくりを進める
 - ① 文化・スポーツの振興

3.環境に優しい暮らしをつくる

- (1)省資源・省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの利活用を促進する
 - ① 環境・経済・社会の好循環につながる取組の推進

基本目標 4 (人の流れ)

新たな人の流れをつくる

転入 ↗ 転出 ↘

1.地域の多様な魅力を発信する

- (1)「福島ならではの」魅力を発信する
 - ① 福島の良さが「伝わる」情報の発信
 - ② 福島の魅力をいかした誘客の促進
- (2)「ふくしま」で輝いている人の魅力を発信する(=あこがれの連鎖)
 - ① あこがれの存在となる生き方・暮らし方の発信と結びつきの強化

2.ふくしまへ新しい人の流れをつくる

- (1)地域の内と外をつなぐキーパーソンを発掘・育成する
 - ① 地域における受入態勢整備への支援
 - ② 地域おこし協力隊の任期満了後の活動支援
- (2)希望の暮らし方をふくしまで見つけられるよう多面的に支援する
 - ① 多様なニーズを踏まえた福島への移住につながる支援
- (3)本県と関わりのある人(関係人口)との交流促進、交流人口の拡大を図る
 - ① 若者等と地域との交流促進
 - ② 福島県とのつながりの強化
- (4)避難解除地域等に新たな活力を呼び込む
 - ① 新たな住民の呼び込みや交流人口の拡大

デジタル変革の取組を追加



子育て支援の充実



地域で働く魅力を楽しみながら学ぶ



テレワークの促進



ICTアドバイザーの市町村派遣



【成果目標・主なKPI】

※成果目標・KPIについては、新しい福島県総合計画・部門別計画等の策定を踏まえ、見直しを行った。

基本目標1 一人ひとりが輝く社会をつくる（ひと）

成果目標

項目	現状値	目標値
合計特殊出生率	1.48 (R2 (2020) 年)	1.61 (R6 (2024)年)
健康寿命	男性71.54歳 女性75.05歳 (H28 (2016) 年)	男性73.86歳 女性76.65歳 (R6 (2024) 年)

県民参考指標（モニタリング指標）

項目	現状値	目標値
福島県で子育てを行いたいと回答した県民の割合（意識調査）	65.7% (R3 (2021) 年度)	72.6% (R6 (2024) 年度)

KPI ※主なもの（KPIの設定数：計18）

項目	現状値	目標値
保育所入所待機児童の割合 ※保育所入所希望者に対する待機児童数の割合	0.2% (R3 (2021) 年度)	0% (R6 (2024) 年度)
地域の課題を解決するための提言や、社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合	17.0% (R2 (2020) 年度・参考値)	100% (R6 (2024) 年度)

基本目標3 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる（暮らし）

成果目標

項目	現状値	目標値
今住んでいる地域が住みやすいと回答した県民の割合（意識調査）	70.4% (R3 (2021) 年度)	75.5% (R6 (2024) 年度)

県民参考指標（モニタリング指標） ※主なもの

項目	現状値	目標値
日頃、人と人との支え合いや絆を実感していると回答した県民の割合（意識調査）	63.5% (R3 (2021) 年度)	70.4% (R6 (2024) 年度)
本県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると回答した県民の割合（意識調査）	53.4% (R3 (2021) 年度)	63.0% (R6 (2024) 年度)

KPI ※主なもの（KPIの設定数：計9）

項目	現状値	目標値
地域のデジタル変革（DX）による新しい価値の創出数	—	30件 (R6 (2024) 年度)
自主防災組織活動カバー率 ※総世帯数に対する、自主防災組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合	75.2% (R2 (2020) 年度)	81.1% (R6 (2024) 年度)
猪苗代湖のCOD値	1.4mg/ℓ (R元 (2019) 年度)	1.3mg/ℓ 以下 (R6 (2024) 年度)

基本目標2

魅力的で安定した仕事をつくる（しごと）

成果目標

項目	現状値	目標値
安定的な雇用者数 (雇用保険の被保険者数)	580,442人 (R2 (2020) 年)	581,000人 (R6 (2024) 年)
製造品出荷額等	50,890億円 (R元 (2019) 年)	52,954億円 (R6 (2024) 年)
農業産出額	2,086億円 (R元 (2019) 年)	2,191億円 (R6 (2024) 年度)
林業産出額	106億円 (R元 (2019) 年)	128億円 (R6 (2024) 年度)
沿岸漁業生産額	21億円 (R2 (2020) 年)	40億円 (R6 (2024) 年度)

県民参考指標（モニタリング指標） ※主なもの

項目	現状値	目標値
県内に、魅力を感じる企業があると回答した県民の割合（意識調査）	29.4% (R3 (2021) 年度)	42.0% (R6 (2024) 年度)
地元産の食材を、積極的に使用していると回答した人の割合（意識調査）	74.6% (R3 (2021) 年度)	80.0% (R6 (2024) 年度)

KPI ※主なもの（KPIの設定数：計23）

項目	現状値	目標値
再生可能エネルギー・水素関連産業の工場立地件数	68件 (R2 (2020) 年)	104件 (R6 (2024) 年)
新規就農者数	204人 (R2 (2020) 年度)	280人 (R6 (2024) 年度)
県内大学等卒業生の県内就職率 ※県内大学等（大学、短大、高専等）卒業生数のうち県内就職者数が占める割合	53.5% (R2(2020)年度)	55.0% (R6 (2024) 年度)

基本目標4 新たな人の流れをつくる（人の流れ）

成果目標

項目	現状値	目標値
人口の社会増減	△6,278人 (R2 (2020) 年)	△4,184人 (R6 (2024) 年)
本県への移住世帯数 ※県で把握したものに限る	723世帯 (R2 (2020) 年度)	1,014世帯 (R6 (2024) 年度)

県民参考指標（モニタリング指標）

項目	現状値	目標値
国内外の友人・知人に対して、自信をもって紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）があると回答した県民の割合（意識調査）	54.8% (R3 (2021) 年度)	62.6% (R6 (2024) 年度)

KPI ※主なもの（KPIの設定数：計11）

項目	現状値	目標値
観光客入込数	36,191千人 (R2 (2020) 年)	52,000千人 (R6(2024)年)
地域おこし協力隊定着率	54.8% (R2 (2020) 年度)	60.0% (R6 (2024) 年度)
移住を見据えた関係人口創出数	1,334人 (R2 (2020) 年度)	3,554人 (R6 (2024) 年度)